

実践的コミュニケーション能力を育むための学習活動の工夫 ～第6学年の学習展開例作成を通して～

那覇市立久茂地小学校教諭 前田 真利

テーマ設定の理由

近年、国際化が進み、国境を越えてコミュニケーションを図る機会が増え、国際的な理解と協調は不可欠となっている。

第15期中央教育審議会答申の国際化に対応する教育を進める留意点に「国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる基礎的な力を育成する観点から、外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の育成を図ること」が挙げられた。

このような状況の中、小学校においては平成4年度より全国各地で研究開発学校指定による英語活動、英語学習が展開されている。本市においても全35小学校が平成15年度より研究開発の指定を受け英語学習を実践している。本市の小学校英語科目標は、「英語の特徴である音声・リズム・イントネーションに十分慣れ、英語を聞くことや話すことに慣れ親しみながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける」こと、「自国や外国の文化や生活に関心を持ちながら、他者を理解し協力し合う態度を身につける」ことをめざしている。このことは、人と関わることを大切にしながら、英語によるコミュニケーションを通して自己表現力の基礎を重要視していると考えられる。

本校も小学校英語が実施されて2年目である。本校の現6年生にアンケートをとってみると「英語は楽しい。ゲームや歌は楽しい。今よりもっと英語を話したり、聞けたりしたい。」等の項目で、90%以上の高い割合を示した。しかし、ほとんどの項目で5年生の時にとったアンケートの結果を下回っており、英語学習に対する関心・意欲の持続が課題となっている。

その原因として、第6学年児童が、低学年・中学年で楽しく学習したゲームや歌の活動だけでは、満足して学習できなくなっていることが考えられる。6学年児童の発達段階や生活経験の実態に即し、コミュニケーションを図っている実感やその楽しさを味わえるような実践的コミュニケーション能力の育成をめざした活動の工夫が必要である。

英語でのコミュニケーションを図る楽しさを実感し、自信を持たせて中学校英語科の実践的コミュニケーション活動へスムーズに移行させたい。そのため、意欲的に英語の学習に取り組めるための学習展開を年間を見通して作成していきたいと考え、本研究テーマを設定した。

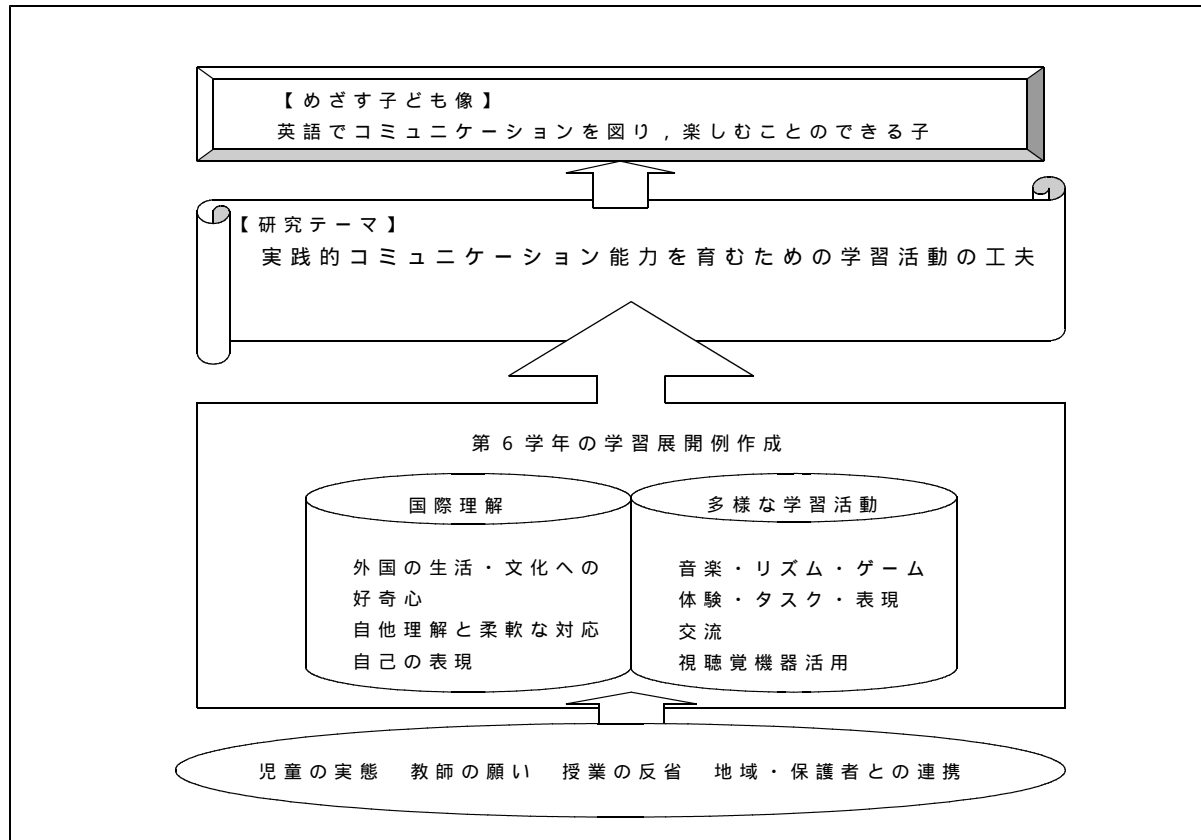
研究目標

実践的コミュニケーション能力の基礎を育むための学習活動を工夫した展開例を作成する。

研究方針

- 1 実践的コミュニケーション能力の基礎を育むために、国際理解の視点に沿った内容と多様な学習活動を効果的に取り入れる。
- 2 中学校英語学習へのスムーズな移行を考慮し、主体的に学習活動ができる学習展開例を作成する。

研究構想図



研究内容

1 実践的コミュニケーション能力とは

国際社会の進展に伴い，英語による実践的コミュニケーション能力の育成が求められている。本市において，小学校で育てたい実践的コミュニケーション能力とは，国際理解の基礎を育むための力と英語で表現しようとするコミュニケーションの力だと捉えている。

実践的コミュニケーション能力を育成するために，コミュニケーションを楽しむこと，英語を聞き取ろうとしたり英語を活用して表現しようとしたりすること，そして，外国の言葉や文化に親しませることが重要となる。

英語の楽しさを実感するコミュニケーション活動は，「英語の授業の中で使われるゲームが楽しかった。」ではなく，英語独特の音やリズムに対して楽しいと感じたり，自分の思いを伝えたり，相手の思いを知る喜びを感じたりすることである。ジェスチャーを使いながらも英語で自分の思いを相手に伝え，伝わることで喜びを感じ自信につながる。その経験を重ねていくことで主体的に話したい，聞きたいという思いが膨らみ，英語を楽しいと感じ実感できる。他者とコミュニケーションを図りたいという思い，他者を理解しようと認め，受け入れる思いは「国際理解」の基礎と言える。実践的コミュニケーション能力を育むために，「国際理解」の視点を全単元に取り入れる必要があると考える。

そこで，国際理解の視点をもち込んで多様な学習活動を行い，英語でコミュニケーションを図る楽しさを味わわせる中で，実践的コミュニケーション能力を育みたい。小学校第6学年において，英語でコミュニケーションを図る楽しさの学習を積み重ねることこそが，中学

校での実践的コミュニケーションにつながるのではないかと考える。

2 国際理解の基礎を育むために

実践的コミュニケーション能力を育むための国際理解の基礎を育むためには、外国の生活・文化に好奇心をもたせ、文化の違いから行動様式の違い、見方・考え方の違いがあることに気づかせる必要がある。そして、自他の文化を尊重し、他者を受け入れる姿勢を育てることが重要である。そのため、国際理解を図る視点と活動内容を表1に示した。

表1 国際理解の視点と活動内容

視点	ねらい	活動内容
外国や自国の生活・文化に興味・関心を持つ。	新しいものに接したとき、常に新鮮な感動と驚きをもつ好奇心を育てる。 世界の様々な地域には、人々が住み、生活していることに気づかせ、地球の仲間への共感を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人英語指導員や外国人ゲストの話を聞く。 ・外国のビデオをみる。 ・外国の物語を読む。 ・外国のくらしを調べる。 ・外国の料理を知り自国の料理にも関心を持つ。 ・地域にある世界遺産を紹介する。
自他を理解し、柔軟に対応する。	自分に自信を持ち、自分の思いや考えを大切にしていける態度を育てる。 外国人だけを対象とするのではなく、他者に対し違いを認め相手を尊重しようとする態度を育てる。 外国の方や異文化の多様性に興味をもたせ、新たな見方、考え方を学ぼうとする姿勢を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の料理や自分の地域の料理についての理解を深め、交流の相手に作り方を伝える。 ・表情やジェスチャーをヒントに英語を聞いて相手の思いに気づく。 ・活動を通して自国とは違う気候や時間の違う国のあることを感じ取る。 ・自国と違う紙幣で買い物を楽しむ。生活・文化の違いで国によって、自国の商品と違う物があることを知る。 ・相手を尊重した言葉で会話を楽しむ。自分の考えを述べ、友だちの考えも自分の考えと比較しながら聞く。 ・世界には、いろいろな考え方で仕事に携わっていることに気づき、違いを認める。 ・各国の正月の過ごし方を知る。
自己表現をする。	ボディランゲージも含め既知の英語を駆使してコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意なことや好きなものを伝える。 ・自分の夢を伝える。 ・調べたことを発表する。

3 多様な学習活動の工夫

6学年の児童は、単純な繰り返しの活動内容に飽き、達成目標のない単発的な内容では満足せず、自分で考え、表現、行動することを好むようになる。「したい」「聞きたい」「話したい」「伝えたい」という意欲を喚起する実際の体験や模擬体験等の多様な学習活動を取り入れることでコミュニケーションの楽しさを実感し、実践的コミュニケーション能力の基礎が育まれると考える。

そこで、6学年児童の生活の活動範囲と視野範囲を考慮して、児童の日常生活に根ざした話題や学校生活に密着した話題、社会的に話題になっていることを実際のコミュニケーション場面に意識的に取り入れていく。そしてコミュニケーションを楽しみながら、聞く・話す力を身につけていくために、下記のような学習活動を工夫する。

表2 多様な学習活動

(1)	活動の種類	活用意義	活動内容及び留意事項
音楽・リズム	<ul style="list-style-type: none"> ・歌 ・チャンツ ・効果音 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然な英語表現にふれることができ、英語学習への興味付けができる。 ・英語のフレーズをリズムに合わせて英語を唱え、相手と掛け合いながら繰り返し、コミュニケーションを楽しむことができる。 ・リアルな雰囲気を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚な歌には抵抗があるためコマーシャルソングやTV番組の中で聞き慣れている歌をBGMで取り入れる。 ・チャンツのリズムのスピードを変える工夫をする。 ・指導者と児童、児童同士の掛け合いで、一斉、グループ、ペアと変化をつけ、チャンツや歌を楽しむ。 ・身近なリズム楽器や手拍子に合わせて即興でオリジナルチャンツを作る。 ・モノレールや空港の様子などのわかるアナウンス等を効果音として活用する。

	活動の種類	活用意義	活動内容及び留意事項
(2) ゲーム・クイズ	英語表現にふれたり慣れ親しむことを主な目的としたゲーム	・楽しみながら英語表現にふれられる。 (かるた・ビンゴ・パスケット・ミッシングゲーム・マッチングゲーム・ジェスチャーゲーム)	・生活の中でも馴染みがあり、TV番組でも紹介されているゲームやクイズを取り入れる。興味・関心も高くルールも知っているため活動しやすい。 ・他教科の中にある内容を取り入れたゲームやクイズを取り入れることで高学年の知的好奇心は高まる。 「Guess」クイズでは、他教科の教科書に載っている歴史上の人物、音楽をヒントに国名や職業当てをする。また、食材、味、食感をヒントに学校給食のメニュー当てをする。
	コミュニケーションの楽しさを感じとることを主な目的としたゲーム	・実際のコミュニケーション場を想定して、会話を交わすことで、英語表現に慣れる。 (名刺交換ゲーム・仲間集めゲーム・インタビュービンゴ)	
	クイズ	・推測や予想する楽しさを味わうことができる。	
(3) 体験活動	模擬体験 ・買い物ごっこ ・道案内ごっこ	・実体験に近い模擬体験をすることで実際の英語表現への意欲を持つ。	・自分達でお店を作り、店員になったり、客になって、買い物ごっこをする。 (外国の通貨・模型や実物で場を作る)
	体験 ・料理 ・道案内 ・買い物 ・交流 ・発表	・実践的に自己表現の経験や他者と交わるコミュニケーション経験を学習する。 ・既習の学習をさらに未知のものを英語学習する楽しさに気づく。	・英語を使いながら料理を作る。 家庭科実習の経験後に取り組む。 ・外国人との交流で沖縄の伝統的なもち作り「ムーチャー作り」を体験する。 ・調べ学習の発表をする。
(4) タスク(課題)活動	・調べ学習 ・物作り ・発表	・高学年では調べ学習を取り入れ、効果的な学習を図る。 ・高学年では、インタビューや外国人と交流する機会を設ける。 ・高学年では、英語を使って世界を表現する活動を行う。 ・高学年では、英語を使って世界を表現する活動を行う。	・料理のレシピを調べる。 ・世界の時刻を調べる。 ・世界のクリスマス・お正月を調べる。 ・自分の調べた国のことを発表する。 ・自分の夢を紹介する写真や絵を集める。 活動中は、児童と個別に英語でコミュニケーションを図るようにする。 活用単元 ・作ってみよう・食べてみよう ・世界の国 ・世界のクリスマス・お正月
(5) 表現活動	・スキット ・創作スキット ・劇 ・物作り ・発表	・自分のアイデアで表現する楽しさを味わう。 ・既知の英語表現を使いながら、新しい英語表現を表現することが出来る。	・料理のレシピを調べたことをもとに調理している様子をスキットで表現する。 ・モノレールでの会話表現に自分の紹介したいことを含めてスキットで表現する。 ・買い物ごっこに使う商品を作ったり、クリスマスカードや「My dream」の絵巻を作る。 ・調べ学習の発表をする。 児童と個別に英語でコミュニケーションを図るようにする。
(6) 交流活動	意義	「国際理解」の基礎を育むためには、交流体験等によるコミュニケーション活動を通して、自己表現の経験や他者と関わる体験を持つことが効果的だと考える。	
	・異学年交流	・6年生と低学年児童が共に活動する交流体験の場を工夫し、6年生がリーダーシップを発揮しながら主体的にコミュニケーションを図っていく体験をさせる。	・買い物模擬体験する。既習の表現を駆使して低学年児童の好きな商品や自分が買いたい商品等を買う。
	・校区内中学校との交流	・中学校で英語を学習する期待感をもたせる。	・中学生の中学校の紹介、校区紹介等を聞く。小学校の紹介をする。
	・外国人との交流	・各教科、領域、総合的な学習の時間で育まれた国際理解の側面を実体験を通して深める。	・「ムーチャー作り」の交流体験をする。 ・自国や各国のクリスマスや正月について調べたことを交流する外国人へ紹介する。

	活動の種類	活用意義	活動内容及び留意事項
(7) 視聴覚機器を取り入れた活動	ビデオ ・視聴 ・ビデオ作り ・ビデオレター ・ビデオ交流	・リアルな音声・映像を通して知的好奇心を持たせる。 ・文字を介しないで、自分の伝えたいことを表現して録画し、交流できる。	・世界の様子を視聴する。 ・NHK 放送ビデオ「えいごりあん」を視聴する。 （世界の天気、体調の表現） ・本校制作のビデオで「モノレール」「買い物」の表現を視聴する
	コンピュータ学習	・インターネットで調べることができる。 ・映像や音声の記憶ができ、個別の会話練習ができる。	・インターネットを使って、世界の時刻、世界の生活や文化を調べる。 ・ヘッドホーンを使い、映像と音声を通して自分のペースで会話表現に慣れる。 ・「えいごりあん」インターネットゲームや英語ゲームソフトを利用して英語に慣れ親しむ。
	電話体験	・離れたところで、生の音声が行きわたること、リアルな体験ができる。	・パソコンの音声配信を利用しヘッドホーンを通じた電話ごっこや、本物の電話を使って、集中して英語を聞く。
	その他	・パソコン・プロジェクター・スクリーンを使いリアルな音声・映像で学習意欲を高める。	・単元の流れを理解したり、「イチロー」の夢やキング牧師の「My dream」の音声視聴する。 ・絵本の読み聞かせでストーリーの場面を視聴する。

4 学習展開の工夫

実践的コミュニケーション能力を育むための国際理解の基礎と英語で表現するコミュニケーション力（聞く・話す）を育むために、単元を「ふれる」「なれる」「楽しむ」段階で構成する。例えば、「買い物」単元における「ふれる」「なれる」「楽しむ」の段階を表2のように構成した。

表3 「買い物」単元の指導計画とコミュニケーション活動の段階

	ふれる	なれる	楽しむ
内容	<p>単元全体の見通しを持たせ、主体的に学習する意欲を高める。</p> <p>・オリエンテーション</p> <p>・ビデオ視聴や英語指導員と担任のデモンストレーションで表現にふれ、会話の使用場面をイメージする。</p> <p>ハンバーガーの歴史や世界のバーガーショップの様子を知る。日本のお店との相違点に気づく。</p>	<p>買い物に使用する会話表現になれる。</p> <p>・チャンツで会話表現に慣れる。</p> <p>・コンピュータで会話表現に慣れる</p> <p>・ビデオを視聴する。</p> <p>・表現の個人練習</p> <p>・ペアで模擬練習</p> <p>・ヘッドホーンを使用したドライブスルーの体験</p> <p>2年生と一緒にお店の商品を作りながら、コミュニケーションで必要な表現になれる。</p>	<p>異学年（低学年）と交流体験を楽しむ。</p> <p>2年生とペアを組んで、自分の知っている英語やジェスチャーを使ってコミュニケーションをとりながら買い物を楽しむ。</p> <p>・ケーキ屋</p> <p>・果物・八百屋</p> <p>・ハンバーガーショップ</p> <p>・文房具屋</p> <p>準備：カウンター、商品、買い物かご、エプロン、ドル紙幣、店の看板</p>
国際理解の視点	<p>外国の生活・文化に興味・関心を持つ。（動機付け）</p>	<p>自他を理解し、柔軟に対応する。</p>	<p>自他を理解し、柔軟に対応する。</p> <p>国際化に対応して自ら表現していく</p> <p>外国の生活・文化に興味・関心を持つ。</p>

5 年間学習展開例の作成

実践的コミュニケーション能力を育み、中学校英語科へスムーズな移行ができるように、年間を通した学習展開例を作成した。学習展開例を作成するにあたって全単元に国際理解の視点をもち込み、国際理解の基礎を育むことや主体的に活動に取り組み英語でコミュニケーションを楽しめるように多様な活動を組んだ。下記は、2学期の単元「世界の国」の展開例である。

各単元の題材に沿って「ふれる」「なれる」「楽しむ」の段階で構成し、国際理解の観点とコミュニケーション力の観点で単元目標を設定した。

単元名 「世界の国」	単元目標	・世界の国の名前や位置興味をもち、気候、文化の異なりや共通点に気づく。(国際理解) ・情報交換ゲームや外国人との電話での間接交流でコミュニケーションを楽しむ。(コミュニケーション)	
9月 # (12・13) 題材名 「行ってみよう」	言語材料	It's summer in ~ now./ It's winter in ~ now. /Where do you want to go ~ ? / I want to go to ~ ./ China is large. /America is large. America /Australia/ Brazil/China/ England/ France /Italy / South Korea/ The Philippines	
配時	展開例	(準備 留意事項 歌 CD)	
short ふれる	1.あいさつをする。 Good morning ! / Hello !/How are you today ?/Say to, How are you ? I'm fine 2.今日の曜日、日付、天気を確かめる。	Let's start. Today's lesson. What day is today ? What date is today ? How is the weather today ? 3.単元の流れを知る。 「世界の国」の単元の見通しをもたせる。(行きたい国聞いてみよう 出かけよう	・国の情報 (ビデオ画像) 絵や写真で紹介する It's summer in ~ now./ It's winter in ~ now. 4.次時予告をする。 5.あいさつをする。 Thank you ~ ./ See you.
long ふれる	1.パスポートをもち、パスワードに答えて入室する。 2.あいさつをする。 3.今日の曜日、日付、天気を確かめる。 4.歌とダンスをする。 「When the saints go marching in」 5.国旗当てクイズをする。	・日本と似た国旗の国 (日本・バングラディッシュ・パラオ) 6.世界地図を利用して国の位置やの大きさを確認する。 7.国の大きさや形から国名を予想し答える。 国の地図を形取った絵カード China is large. /America is large.。	8.デモンストレーションで今日の表現を聞く。 Where do you want to go ~ ?/ I want to go to ~ . 9.チャンツで今日の表現にふれる。 10.次時予告をする。 11.あいさつをする。 Thank you ~ ./ See you.
short なれる	1.あいさつをする。 2.今日の曜日、日付、天気を確かめる 3.歌とダンスをする。 「When the saints go marching in」 4.国旗当てクイズ ・形が同じ国旗の国	5.チャンツで今日の表現の復習をする。 Where do you want to go ~ ?/ I want to go to ~ .の表現で各国の名前を復習する。 America /Australia/ Brazil/China/ England/ France /Italy / South Korea	North Korea/ The Philippines 6.今日の表現を使ったカルタとりゲームをする。 7.次時予告をする。 8.あいさつをする。 Thank you ~ ./ See you.
long 楽しむ	1.あいさつをする。 2.今日の曜日、日付、天気を確かめる。 3.歌とダンスをする。 「When the saints go marching in」 4.曲当てクイズをする。 ・どこの国の音楽か当てる。 音楽の「世界の国々の音楽」参照	5.チャンツで今日の表現の復習をする。 Where do you want to go ~ ?/ I want to go to ~ .の表現で各国の名前を復習する。 America /Australia/ Brazil /China/ England/ France /Italy / South Korea North Korea/ The Philippines	6.今日の表現を使ってインフォメーションゲームをする。 全員の名前のあるワークシート デモ 練習 ゲーム 7.次時予告をする。 8.あいさつをする。 Thank you ~ ./ See you.
9月 # (14・15) 題材名 「聞いてみよう」	言語材料	What time is it in New York ? / It's ~ / How is the weather in New York ? / What season is it there ? / You need ~. gloves / scarf / coat / jacket / sweater / swimsuit / parasol / sunglasses	
short ふれる	1.あいさつをする。 Good morning ! / Hello !/How are you today ?/Say to, How are you ? I'm fine 2.今日の曜日、日付、天気を確かめる。 Let's start. Today's lesson. What day is today ? What date is today ?	How is the weather today ? 3.国旗当てクイズをする。 ・色が同じ国旗の国 4.AET から外国の夏について聞く。 When is it summer in Britain? It's (in) May, June, and July. America /Australia/ Brazil/China/ England/ France /Italy / South Korea/ The Philippines	5.チャンツで今日の表現にふれる。 What season is it there now ? It's ~ . How is the weather ? 17 What time is it now ? 8 6.次時予告をする。 7.あいさつをする。 Thank you ~ ./ See you.
long ふれる	1.あいさつをする。 2.今日の曜日、日付、天気を確かめる。 3.チャンツで今日の表現にふれる。(国旗) What season is it there now ? / It's ~ . / You need ~ gloves / swimsuit / parasol / sunglasses .scarf	coat / jacket / sweater / 4.世界の時刻を調べる。 (コンピュータ室) 5.AET と HRT のデモを集中して今日の表現を聞く。 What time is it in New York ? / It's ~ . How is the weather in New York ?	What season is it there ? You need ~. 6.ペアで A と B にわかれてワークシート 1 を使い、今日の表現にふれる。 7.次時予告をする。 8.あいさつをする。 Thank you ~ ./ See you.

short なれる	1.あいさつをする。 2.今日の曜日、日付、天気を確認する。 3.歌とダンスをする。 「When the saints go marching in」 4.チャンツで今日の表現にふれる。 国旗の絵カード	5.糸電話ごっこをする。 国の情報が書き込まれた糸電話 (時間・天気・季節 等) What time is it in New York ? / It's ~. How is the weather in New York ? / What season is it there ? / You need ~.	AET と HRT のデモを集中して聞く。 ペアで電話ごっこをする。 ペアを交代する。 (交代することにシールをもらう) 6.次時予告をする。 7.あいさつをする。 Thank you ~. / See you.
long 楽しむ	1.あいさつをする。 2.今日の曜日、日付、天気を確認する。 3.歌とダンスをする。 「When the saints go marching in」.	4.AET と HRT が電話を使ったデモを聞く。 Hello! What's your name ?/ What time is it in New York ? / It's ~. How is the weather in New York ? / What season is it there ? / You need ~.	5.糸電話を使って情報交換ゲームをする。 外国の人と電話で間接交流の場も設定できる。 6.次時予告をする。 7.あいさつをする。 Thank you ~. / See you.
10月 題材名 「出かけよう」	言語材料 Show me your passport. Here you are. What's your name ? My name is ~. How old are you ? I'm ~ years old. Where do you live ? I live in ~ Where do you want to go ? I want to go to ~. How long will you stay ? I will stay for ~ days.		
配時	展開例 (準備 留意事項 歌 CD)		
short ふれる	1.あいさつをする。 Good morning ! / Hello !/How are you today ?/Say to, How are you ? I'm fine 2.今日の曜日、日付、天気を確認する。 Let's start. Today's lesson. What day is today ? What date is today ?	How is the weather today ? 3.空港での入国審査のやりとりをビデオ (AET/HRT のデモ) で視聴する。 コスチューム、持ち物を工夫して、空港にいる雰囲気をつくる。 4.コンピュータで今日の表現にふれる。 Show me your passport. Here you are. What's your name ? My name is ~	How old are you ? I'm ~ years old. Where do you live ? I live in ~ Where do you want to go ? I want to go to ~. How long will you stay ? I will stay for ~days. 5.次時予告をする。 6.あいさつをする。 Thank you ~. / See you.
long なれる	1.パスポートをもち、パスワードに答えて入室する。 Show me your passport. Here you are. What's your name ? My name is ~ 2.あいさつをする。 3.今日の曜日、日付、天気を確認する。	4.歌とダンスをする。 「When the saints go marching in」 5.今日の表現にふれる。 CD-R でヘッドホーンを使って友だちと AET と Show me your passport. Here you are. What's your name ? My name is ~ How old are you ?	I'm ~ years old. Where do you live ? I live in ~ Where do you want to go ? I want to go to ~. How long will you stay ? I will stay for ~days. 5.次時予告をする。 6.あいさつをする。 Thank you ~. / See you.
short なれる	1.パスポートをもち、パスワードに答えて入室する。 Show me your passport. Here you are. What's your name ? My name is ~ 2.あいさつをする。 3.今日の曜日、日付、天気を確認する。	4.歌とダンスをする。 「When the saints go marching in」 5.今日の表現にふれる。 CD-R でヘッドホーンを使って友だちと AET と Show me your passport. Here you are. What's your name ? My name is ~ How old are you ?	I'm ~ years old. Where do you live ? I live in ~ Where do you want to go ? I want to go to ~. How long will you stay ? I will stay for ~ days. 5.次時予告をする。 6.あいさつをする。 Thank you ~. / See you.
long 楽しむ	1.パスポートをもち、パスワードに答えて入室する。 Show me your passport. Here you are. What's your name ? My name is ~ 2.あいさつをする。 3.今日の曜日、日付、天気を確認する。	4.歌とダンスをする。 「When the saints go marching in」 5.今日の表現の復習をする。 友だちと AET と 6.今日の表現を使って入国ゲームをする。 入国ラリースート(ワークシート2) A/B の2グループにわけ、旅行者と入国申請官の役割を交代で体験する。	・時間内に何カ国に入国できたかを競う。 ・入国できたらシール 児童の実態に合わせて、ラリースートの内容を考える。 5.次時予告をする。 6.あいさつをする。 Thank you ~. / See you.

(CD 児童英語教育法 中本幹子 APRICOT 英語で国際理解教育 八田久弥 小学館
LET'S CHANT LET'S SING Carolyn Graham OXFORD UNIVERSITY PRESS)

授業実践

1 単元名 買い物

2 題材名 お店を開こう

3 指導目標

国際理解 外国の店や紙幣に興味をもち、「サイズ・値段・持ち帰り」の英語表現を使い買い物ごっこを楽しむ。

コミュニケーション ボディランゲージや既知の英語を駆使して2年生と買い物ごっこを楽しむ。

4 単元について

(1) 教材観

「買い物」を題材にした売り買いに使う表現は、生活表現として生かされやすく、実際場面を想定し模擬体験的な学習ができる。また、商品を選ぶときに、色や形、大きさなど今まで親しんできた英語の語彙や表現のこれまでの積み上げを生かしながら英語を使ったコミュニケーションが楽しめる題材である。

(2) 児童観

英語の時間に英語を使って話そうとしている子は、65 %であるがもっと話せるようになりたい児童は 96 %もいる。英語でショッピングをしてみたい子は、63.4 %で、やはり実際に話して使うことに対しては抵抗があるようだ。この回答から「英語」には興味を持っていて、英語を話せるようになりたいと思っている児童が多いが、実際に活用するには不安に思う子が多い。児童が自信を持ち積極的に英語でコミュニケーションしていける活動内容の工夫が必要である。

(3) 指導観

本単元「買い物」の学習の流れがわかり主体的に活動できるようにオリエンテーションを行う。そして、単元目標を明確にし見通しを持って学習できるようにする。

世界中にチェーン店のあるお店をパソコンを使ったプレゼンテーションで紹介し、自らも英語で購入する可能性の高さを感じさせ、英語表現を使う意欲を高める。また、生活・文化・宗教の違いでメニューや建物までも日本とは違うことに気づかせ知的好奇心をかき立てていきたい。

高学年になると自分自身に納得がいく程度まで理解できないと不安で話せない児童がいる。コンピュータを活用した教材を使うことで自分のペースで表現の練習ができるようにする。また、コンピュータを使った英語の学習は 100 %の児童が楽しいと答えている。ヘッドホンを活用して、一人で確認しながら、自信を持って実際のコミュニケーションを楽しむよう工夫する。同じ表現も活動スタイルや活動の場に変化をもたせることで、意欲が持続できるようにする。

これまで、クラスの中でペアやグループを組みながら学習してきているが、常にリードしている児童や友達を頼る児童がいる。一人ひとりに自信を持たせていく手段として、低学年と交流させる場を作りたい。6年生が体験活動をリードしていかなければならない状況を作ること積極性を促したい。また、これまでに習った自分のわかる英語表現を駆使しながら、相手にわかるように工夫して話していくことでコミュニケーションの大切さと楽しさを感じ取らせていきたい。「くもじっこまつり」で交流の経験があり、英語の学習経験が多少ある2年生とペアを組ませ、実践的なコミュニケーション学習の場を作りたい。

そこで、ショッピンググッズを児童に作らせることで参加意識を高めたい。

5 指導計画（研究内容 P5 表3に記載のため省略）

6 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・ハンバーガーショップで注文するときの表現を基に・文房具店・果物屋・ケーキ屋等でも楽しく活用する。
- ・2年生とペアを組み、自分の知っている英語やジェスチャーを使って積極的にコミュニケーションをとりながら買い物を楽しむ。

(2) 本時の具体的な手だて

T1,T2 の役割を明確にし、T1 は主に授業を進行する。T2 の AET はできるだけ英語の音声を見聞かせる。HRT は学級の児童への支援を主に担当する。

児童に授業の流れをわかりやすくするために、提示物を用意したり、デモンストレーションやジェスチャーで英語のだいたいの内容がつかめるように工夫する。

この単元で基本表現の場面に使用したハンバーガーショップを置くことで安心して会話を楽めするようにする。また、これまでの学習を生かして英語で表現できるようにするため、色を使った物、果物、野菜、文房具にする。

(3) 本時の展開

展開 45分 procedure	Activities			Remarks
	students	T1	T2 HRT / AET	
Warm-up 7分	・2年生は整列してすわる。 ・パスポート・6年生 ・整列して座る 1. あいさつをする。	Please sit with your partner. everyone has a partner ? Good morning ,everyone. How are you today ? Who is today's volunteer ?	A: Helps today's volunteer to say. Helps students at the passport area. H/ 整列させる。	/H.E. room にこやかに声 をかけ緊張を ほぐす。
Greeting s	2. 今日の曜日、日付、天 気を確かめる。 3. 歌とダンスをする。 r 5, 6, 7, 8	0.K very good. Let's sing and dance! ・共に歌って踊る。	H/ T1問いかけに対する反 応を促す。 one ,tow ・ ・Sing and dance with the students ・共に歌って踊る。	C D
Song・Da nce	4. 今日の学習の流れを知 る。 5. 今日使う表現を確かめ る。 ・デモンストレーションを みながら繰り返して声に 出して言う。	・ Explain how to today's lesson. ・ カードを提示する Could you demonstrate ? ・ 店員 A6: May I help you ? A6: Pass me mari ? T1: Ok. A6 :2 dollars please. A6.T1: Thank you !	A/Group B you are customer first. You have 7 minute. And , then Change the part ・ 客 H6: What color do you like ? H2: (I like ~.) H6: 0.K red one, blue one H6: How much ? H6: Here you are (数えながら) H2: 一緒に数える	絵カード バーガーショ ップ6つ 果物屋2つ ケーキ屋2つ 文房具屋2つ
Activit ies	6. ペアでショッピングを 楽しむ。 A グループはお店 B グループは客 役割の交換 B グループはお店 A グループは客	T1: Let's try! ・ 児童の努力を賞賛する very good. perfect ! ・ 児童を励ます。 Don't mind. It's O.K AETとT1 文房具屋・果物屋・ハンバーガーショップのエリアで支援 HRT 主にハンバーガーショップのエリアケーキ屋で支援	・ HRTは、コミュニケーションの苦 手な児童を中心にヒントを与え たり支援していく。	6年の役はジ ェスチャーを つけながらゆ っくり話す。 役割がわかる ように工夫す る。 デジタルタイ マー
Wrap-up 6分	7. 今日の活動、単元の活動 を振り返る 8. あいさつをする。 Thank you ~ +	・ 児童の活動をほめる ・ 児童の感想を聞く That's all for today. See you !	A/ Did you enjoy today's class ? A/ What do you think about today's class ? HRTは、今日の感想を述べる。 See you next week.	C D 役割交換は、 音楽で知らせ る

(4) 評価 2年生とペアを組み、積極的にコミュニケーションを楽しんでいる。

結果と考察

検証 1

「ふれる」段階で単元の見通しをもたせ、到達目標を明確にし、「なれる」段階で学習の場を工夫することで、児童は、目的意識を持ち、意欲的に学習活動に取り組むであろう。

【結果】単元の「ふれる」段階のオリエンテーションで、視聴覚機器を活用したプレゼンテーションを行い、各国のバーガーショップを紹介する中で文化による食の違いに興味を持たせた。また、この単元で行う学習方法や活動内容を紹介し「買い物ごっこ」の学習の見通しをもたせ、2年生をリードし英語で買い物をするという到達目標を示した。そして、「なれる」段階では、「買い物」をするために必要な英語表現を練習する工夫した。ヘッドフォンを使い、自分のペースで繰り返し会話表現が聞ける場、友達とペアでシュミレーションをする場、ドライブスルーの仕組みで離れた場所から音声だけを聞き取って注文の受け答えをする場と変化のある活動の場を設定した。

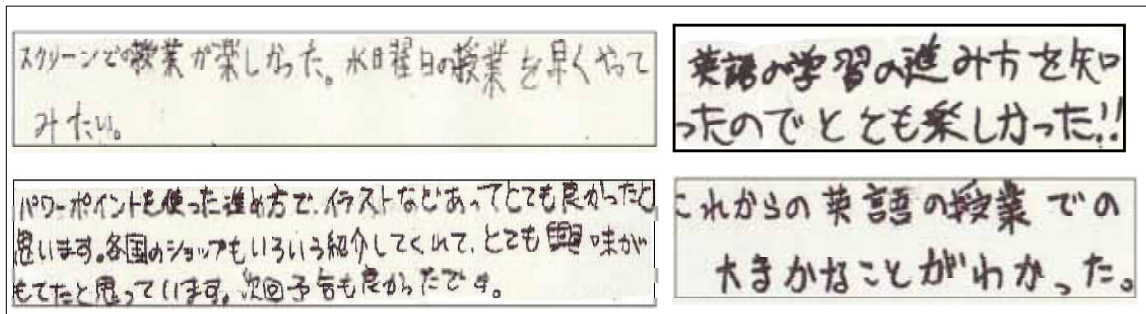


図 1 視聴覚機器を使った学習活動後の児童の感想

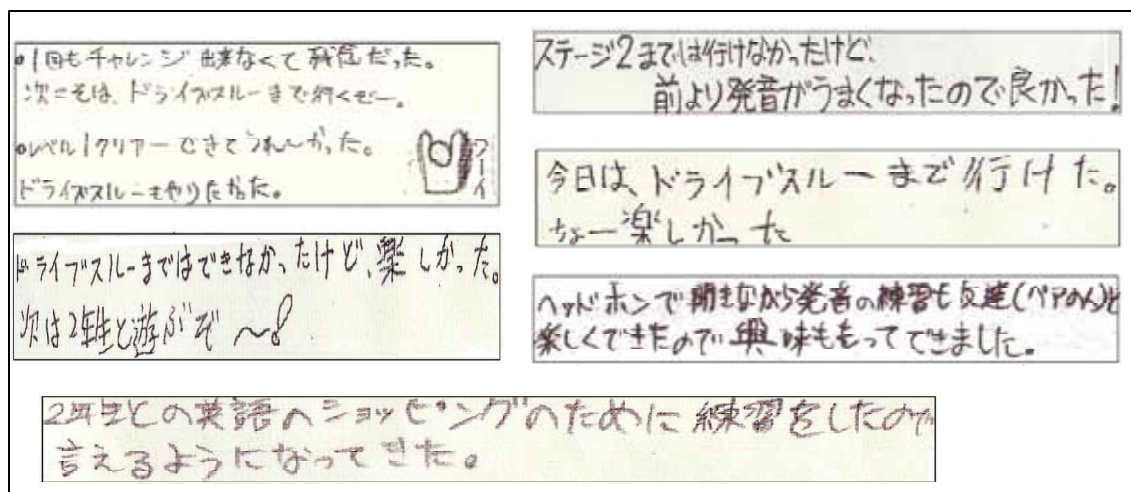


図 2 コンピュータを使った学習活動後の児童の感想

【考察】

図 1 から、単元の最後に2年生とペアになって買い物ごっこの活動があるという学習の見通しをもたせることで、本単元に興味をもつと同時に学習の進み方がわかったことや図 2 から「2年生との英語のショッピングのために練習したい」とか「ドライブスルーまで行くぞ」

「2年生と遊ぶぞー」等、次の時間の活動に意欲を持たせることができた。これらの感想から、自分なりの目標を持って取り組んでいる様子やペアとの練習で楽しくコミュニケーションを図っている様子がうかがえる。学習に対する見通しや目標をもつこと、学習活動の場を工夫することが、意欲的な活動につながったと考える。また、本單元ヘッドホーンを使った個別の学習は、特に興味をもって取り組んだことがわかった。自作の英語表現のビデオ教材をCD化しコンピュータ画面を見ながら、ヘッドホーンを使い、自分にあったペースで学習する工夫は、「自信がないと人前で話せない」という6学年児童の発達特性に合った活動であると言える。このコンピュータを活用した授業は、事前事後のアンケートでも児童全員が楽しい活動であると答えていた。

検証2

「楽しむ」段階で2年生との交流の場を設定することで、主体的に学習活動に取り組み、積極的にコミュニケーションを図るだろう。

【結果】6年生がリードしながら、既知の英語表現を駆使しコミュニケーションが図れるように、個数、色、大小を尋ね合ったりできるよう商品を工夫したり、2年生と交流を図る必然性が出るように店の構造を工夫した。学習活動後の児童の感想とアンケートの結果から検証する。

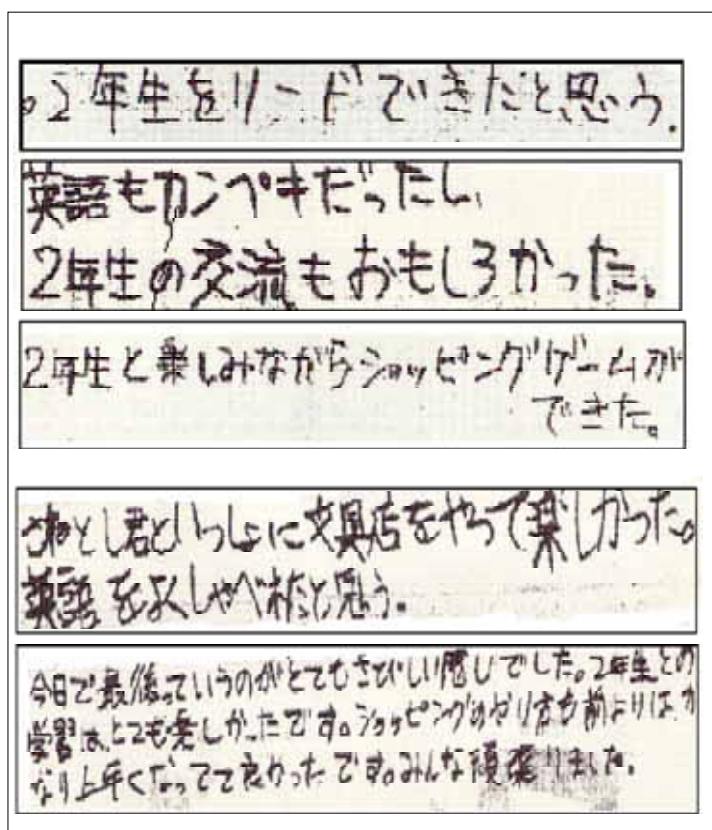


図3 2年生との交流活動後の児童の感想

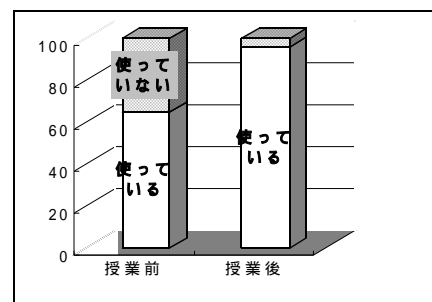


図4 「既習の英語を使っているか」の回答結果

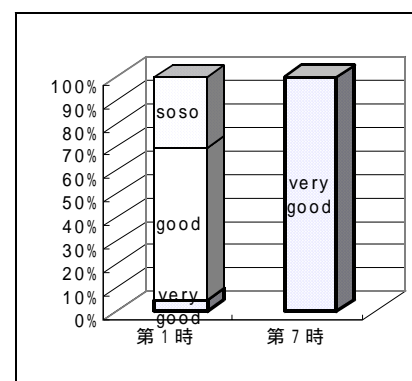


図5 「コミュニケーションを楽しんだか」の項目の自己評価の結果

【考察】

図3は、2年生との交流活動を行ったときの児童の感想である。「たのしみながら」、「カンペキ」、「上手になった」、「よくしゃべれた」の言葉からも主体的に英語でコミュニケーションを図ったという自信が表れている。低学年とペアを組んで交流するという活動の見通しをもって取り組んだことで、「交流」学習を目標にして意欲的に学習してきた成果がうかがえる。

また、図4のアンケート結果からわかるように、授業前には、65%だったのが、授業後には、96%の児童が「既習の英語を使っている」と回答し、大幅に増えた。図5の「コミュニケーションを楽しんだか」の自己評価からも第7時の「楽しむ」段階での交流学習は、全員がコミュニケーションを楽しんだことがわかった。また、小中連携の英語教育の視点から児童に中学校英語への期待をたずねたところ、「中学でも直接英会話をする学習がしたい。自分のプロフィールを英語で書いてみたい。コンピュータを使った学習がしたい。むずかしい英語にも挑戦したい。」という回答があった。中学校で英語を学習する意欲や期待が感じられた。

以上のことから国際理解の視点に沿った内容と多様な学習活動を効果的に取り入れ、児童の興味関心を高め、主体的にコミュニケーションを図っていくように学習活動を工夫することで、英語への興味・関心を高めコミュニケーションの楽しさを実感できるようになっていくと考えられる。

研究の成果と課題

1 成果

- (1) 国際理解の視点に沿った内容と多様な学習活動を効果的に取り入れ単元構成を工夫した第6学年の児童の学習展開例を作成することができた。
- (2) 学習展開例の中から一実践を検証し学習活動の工夫ができた。

2 課題

- (1) 各教科・領域・総合的な学習の時間との関連を考えた単元構成の工夫。
- (2) 第6学年における英語科の到達目標設定の研究。
- (3) 作成した学習展開例を活かす教材・教具の充実。

《主な参考文献と引用文献》

「小学校英語活動実践の手引き」	文部科学省	開隆堂出版株式会社	2001
「平成16年度小学校英語科指導計画」	那覇市教育委員会		2003
「小学校英語活動を創る」	松川禮子	高陵社書店	2003
「小学校英語活動 指導のアイテム小辞典」	影浦 攻	明治図書	2002
「小学校英語指導の基礎・基本」	渡邊寛治	教育開発研究所	2003
「実践家からの児童英語教育法 解説編」	中本幹子	アプリコット	2003
「小学校の英語教育」	金森 強	教育出版	2003
「英語で国際理解教育」	八田久弥	小学館	2001
「Let's Try 小学校英語科への挑戦」	福岡県小郡市立 東野小学校	明治図書	2003